

思いを聞き取り、伝えられる 言語活動の工夫

～小中連携の視点で考える手立ての工夫～

2020年 全英連東京大会 授業者発表
東京都足立区立亀田小学校
主幹教諭 畠山芽含

本日の内容

- 1 足立区・学校・自己紹介
- 2 新学習指導要領改訂のポイント
- 3 小中連携の視点で考える手立て
- 4 言語活動へ向けて
- 5 最後に

1 足立区・学校・自己紹介

1 足立区紹介



1 足立区紹介



東京 2 3 区北端

人口 約 6 9 万人

小学校 6 9 校

中学校 3 5 校

小中教育一貫校 2 校

(1) 興本扇学園

(2) 新田学園

1 足立区紹介



英語教育事情

小学校は

ALT契約なし → 「小学校外国語活動アドバイザー」



英語が堪能な日本人

足立区が採用

足立区小学校教育研究会 月に1回

足立区中学校教育研究会 月に1回

年2回
合同研修

1 学校紹介

- 平成21～30年度・・・小中教育一貫校足立区新田学園（小学生約1400名
中学生約400名）勤務



1 学校紹介

- 平成31～令和2年度・・・足立区立亀田小学校（児童数850名）勤務



1 学校紹介

足立区立亀田小学校



昨年度から英語専科配置

3年生 担任が指導

4～6年生 英語専科が指導

4年生 5学級

5年生 4学級

6年生 4学級

1 区小中研紹介

足立区小中連携事業

中学校 足立区中学校教育研究会（英語部）

小学校 足立区小学校教育研究会（外国語活動部）



例年は年に2回全区内小中各教科部会で
合同開催、連携を深めてきた

今年度はコロナ感染症防止対策のため各部で
オンラインや校務支援システム等で情報交換

2 新学習指導要領改訂のポイント

2 新学習指導要領改訂のポイント

育成を目指す資質・能力の三つの柱

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

- ・ **意味のあるやり取りを通して体験的に理解**
- ・ 言葉のおもしろさ・豊かさへの気付き
- ・ 音声や文の構造への気付き
- ・ **多様性を受け入れ**異文化理解を促す。

- ・ 児童が**自分の学習過程や成果を振り返り**自律的に学ぶ。
- ・ 世の中でどのような役割を担い生きていくのか、他との関わりを通して考える。

- ・ 相手への配慮
- ・ 自分の思いや考えを伝える
- ・ **推測する力**

2 新学習指導要領改訂のポイント



http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503.htm



授業研究編 I ◎ 外国語活動	31
第3学年外国語活動年間指導計画例 [家]	32
第4学年外国語活動年間指導計画例 [家]	34
第3学年「Unit 4 I like blue. すきなものをつたえよう」単元指導計画	36
第3学年「Unit 4 I like blue. すきなものをつたえよう」(全4時) 指導案	39
授業研究の視点① 児童の興味のある題材の選定	44
授業研究の視点② 聞く必然のある活動	46
授業研究の視点③ 話す必然のある活動	48
授業研究の視点④ 他教科等と連携した活動	50
授業研究の視点⑤ 評価	52
授業研究の視点⑥ 教材の作成と活用の仕方	53
授業研究の視点⑦ 「主体的・対話的で深い学び」の在り方	54

http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/_icsFiles/afieldfile/2017/07/07/1387503_1.pdf

2 新学習指導要領改訂のポイント

外国語活動・外国語科の目標 改善・充実の視点

- 1 各学校段階の学びを接続させる
- 2 「外国語を使って何ができるようになるか」を明確にする

2 新学習指導要領改訂のポイント

小学校外国語活動（第3～4学年）の目標

外国語によるコミュニケーションにおける
見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、
話すことの**言語活動**を通して、
コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を
次の通り育成することを目指す。

2 新学習指導要領改訂のポイント

小学校外国語科（第5～6学年）の目標

外国語によるコミュニケーションにおける
見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、
読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、
コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を
次の通り育成することを目指す。

2 新学習指導要領改訂のポイント

中学校外国語科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける
見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、
読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、
簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え
合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を
次の通り育成することを目指す。

2 新学習指導要領改訂のポイント

外国語によるコミュニケーションにおける 見方・考え方

即興性

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景
る文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、
コミュニケーションを行う**目的や場面、状況等に応じて、**
情報を整理しながら考えなどを形成し、**再構築**すること

2 新学習指導要領改訂のポイント

コミュニケーションの
目的や場面、状況などを設定する必要

言語活動とは

【言語活動】実際に英語を用いて互いの考えや
気持ちを伝え合う活動

【練習】

練習で終わって
しまっは・・・

~~英語を用いているが、考えや気持ちを
伝え合うという要素がない活動~~

2 新学習指導要領改訂のポイント

英語の目標

【五つの領域別の目標設定】

- ・ 聞くこと
- ・ 読むこと
- ・ 話すこと **(やりとり)**
- ・ 話すこと **(発表)**
- ・ 書くこと

2 新学習指導要領改訂のポイント

英語の目標

【各学校段階の目標】

- ・ 小学校中学年外国語活動

「～するようにする」

- ・ 小学校高学年、中学校外国語科

「～**できる**ようにする」 ← **教科としての指導**

3 小中連携の視点で考える手立て

3 小中連携の視点で考える手立て

1 「中学校でも考え続けられるテーマは何か」

2 「教材は何がよいか」

3 「他教科横断で考えられないか」

3 小中連携の視点で考える手立て

1 「食」

2 「NEW HORIZON Elementary Unit6 “Let’s think about our food.”」

3 「総合的な学習の時間 『給食の残菜を減らそう』」

3 小中連携の視点で考える手立て

1 「食」の導入→「東京都独自教材“WELCOME TO TOKYO”」



3 小中連携の視点で考える手立て

2 「Unit 6 Let's think about our food.」

Over the Horizon 「外国から来る食べ物について考えよう。」



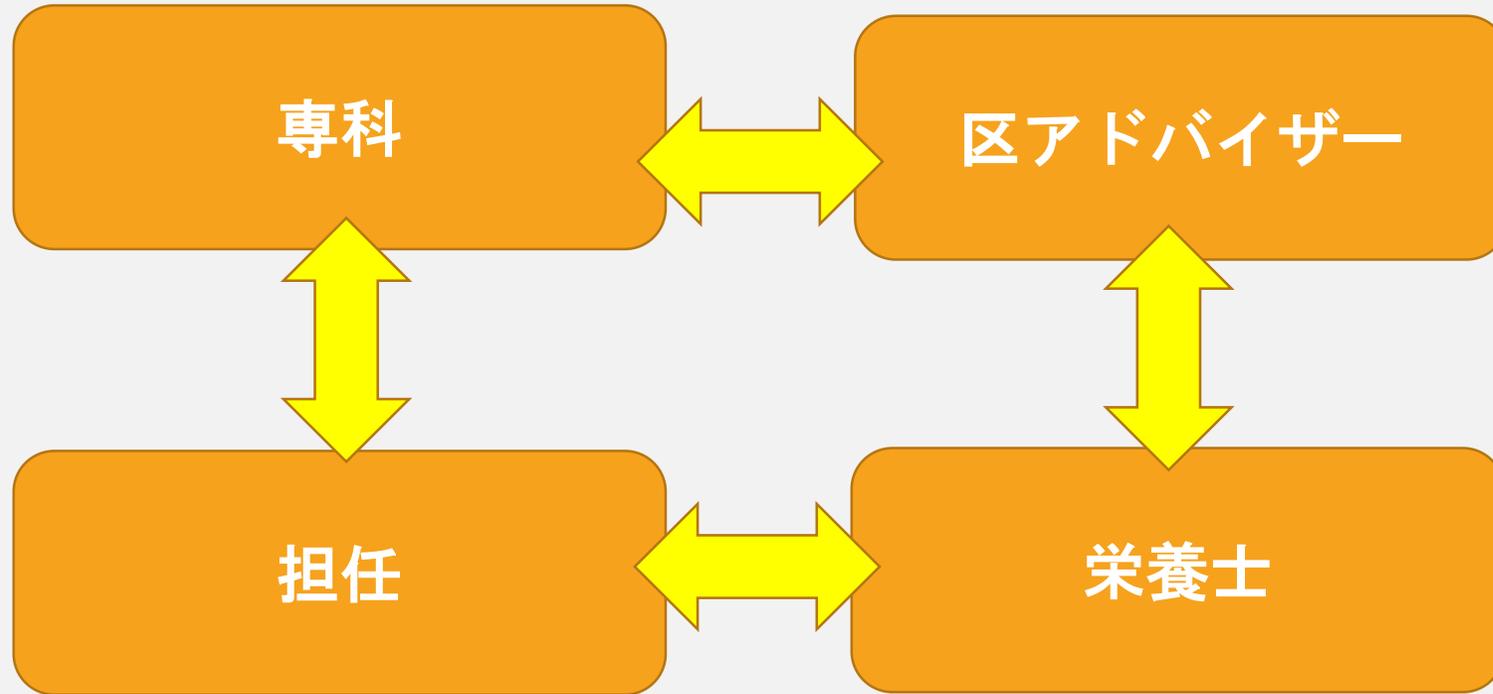
「日本の食料事情」

「世界の食料事情」

「食べ残しをすると・・・？」

3 小中連携の視点で考える手立て

3 「総合的な学習の時間 『給食の残菜を少なくしよう』」



4 言語活動に向けて

4 言語活動に向けて

(1) Small Talk

既習表現を繰り返し活用しながら
やり取りを続ける活動



“Do you know SNS?”

“What food do you like?”

“Is this food or garbage?”

“Do you like kyushoku?”

“What menu do you like?”

“What is food loss?”

4 言語活動に向けて

(2) 「栄養士さんからのメッセージ」を受けて・・・

①自分達にできることは何だろうか？ “What can we do?”

②村松先生（栄養士さん）へのメッセージは？

“What is your message for Ms.Muramatsu?”

4 言語活動に向けて

「いつも給食を作ってくださっている
栄養士の村松先生から
今日はみんなへ
メッセージを
預かってきています。」

4 言語活動に向けて

Message from
Ms. Muramatsu

For 6 graders

Food Loss...



What did you buy for??



October 13



13.8 kg



Food Loss for
40 students!!!

Percentage



1 year
365!

4 言語活動に向けて

① What can we do?

- “food loss is no good.”
- “I like kyushoku very much!”
- “I can eat all kyushoku!”
- “I want eat all kyushoku!”
- ”We can eat amattakyuushoku betunogakunen!” (ぼくたちは別の学年で余った給食を食べられる！)
- “My favorite menu is curry and rice! I can eat curry and rice 2 okawari, 3okawari!”
- “SNS, food is food. No garbage.” ▪ ▪ ▪

4 言語活動に向けて

② What is your message for Ms. Muramatsu?

- “Thank you Muramatsu sensei make (making) kyushoku every day.”
- “I’m sorry food loss.”
- “Give my class much kyushoku please!”
- “How about viking(buffet) kyushoku?”
- “We make new rule okawari.” ▪ ▪ ▪ ▪

4 言語活動に向けて

Reflection

・「10月13日の給食でぼくの大好き1位！のおろしポンスサラダが（学校の残菜を集めると）こんなに残っていたなんて信じられない！ぼくが食べたかった。パン工場でも残したり捨てたりするなら貧しい国にあげれば良いと思いました。」

・1日にこんなに食品ロスがあることがわかりました。もったいないと思います。私は給食を残さず食べるということをします。そうすれば、少しでも食品ロスが少なくなると思います。

・日本では一人あたりに一日約130gも食品ロスがあることを知ってびっくりしました。まだ食べられるパンの耳が捨てられたり、タピオカドリンクが写真だけ撮って飲み残されているのはいいことではありません。食品について見つめ直したほうがいいことを考えて生活したいです。

・自分一人くらいならって思うのかもしれないけど、みんながそう思ったらものすごい量になるからその考えはやめたほうが良いと思いました。

5 最後に

5 最後に

- ・ 児童にとっては、現在の学びは数年間の継続した学びの中の「一部」。義務教育の9年間のつながりを見通した学びの提供を。
- ・ 学級担任が指導できるよさ、専科が指導できるよさ、小学校文化を大切にしながら両輪としてそれぞれのよさを生かした指導を。
- ・ 他教科との横断的教材や校内組織を活用して、様々な場面や状況で児童が自分の言葉や考えを表現できる場の設定を。

5 最後に

小中連携まとめの取組として、こんな活動をやりました（H31・3月）

小学6年生と中学3年生で英語を使ったコミュニケーションタイム



ご清聴ありがとうございました

